

講演会型(中学校)

学校名等	関市立緑ヶ丘中学校区小中学校(緑ヶ丘中、安桜小、瀬尻小、倉知小)
実施日時	令和3年10月15日(金)~10月18日(月)
会場	各家庭
参加人数	502件(動画アクセス数)
学習課題(分野)	動画配信による中学校区合同講演会(命の大切さ・家族の大切さ)
運営者の願い	・校区の親子(家族)に「地域の一員」として防災について考えてほしい。 ・動画の配信を活用し、都合の良い場所や時間にコロナ禍でも安心して講話を聞いてほしい。

学習の内容

テーマ:自然災害への備え ~地震、大雨、雷~

講師:岐阜大学地域減災研究センター 清流の国ぎふ、防災・減災センター 村岡 治道 特任准教授

<中学校区が合同で家庭教育学級を実施する良さ>

- ・校区の小中が連携することで、親子が地域の一員としての自覚をもつことができる。
- ・複数の学校が協力して実施することで、PTA 役員や担当職員がそれぞれの持ち味や良さを生かして活動を展開することができる。
- ・講師謝金の予算を複数校が持ち寄ることにより、講師選択の幅が広がる。

<取組の流れ>

- ① 事前に保護者にアンケートを取り、保護者が知りたい内容を講話に盛り込んで頂くよう講師に依頼。
- ② 講演を録画し、見やすいように3本の動画に分けて編集。
- ③ パソコンやスマートフォンでの視聴だけでなく、子どもたちが学校で使っているタブレットでも視聴できるよう、タブレットを持ち帰る週末に合わせて動画を配信。
- ④ 動画を見終わったら、保護者はそのままオンラインでアンケートに回答。
- ⑤ 配信期間終了後、アンケート結果や感想をまとめ、通信にして配付。



講演録画の様子

令和3年9月28日

安桜小学校 PTA 様
倉知小学校 PTA 様
瀬尻小学校 PTA 様
緑ヶ丘中学校 PTA 様

安桜小学校家庭教育学級委員長 辻 加津見
倉知小学校家庭教育学級委員長 安部 加奈子
瀬尻小学校家庭教育学級委員長 石田 学
緑ヶ丘中学校家庭教育学級委員長 野見 敦郎

**令和3年度小中学校家庭教育推進重点指定校
3小1中合同特別講座(オンライン視聴)のご案内**

各校の親、PTA 会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、学校活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、緑ヶ丘中学校区の小中学校では、令和3年度に国・県・市・県立特別指定校の指定を受け、小中学校家庭教育推進重点指定校に指定されております。今回、3小1中合同の特別講座を下記のように計画いたしました。

つきましては、ご多用とは存じますが、講話をご視聴いただき、家庭教育の重要性や必要性を理解していただく一助になるようご案内申し上げます。

記

1 日 時 令和3年10月15日(金) 17時00分~18日(月) 23時59分

2 演 題 岐阜大学特任准教授 村岡 治道 様 「緑ヶ丘中学校校区の防災(0J)」

3 参加方法 各家庭でオンラインによる視聴
・上記視聴期間に、指定アドレス(後述連絡)から視聴します。
・お申し込みで発行したタブレットやご家庭で利用のPCから視聴できます。
・視聴方法、視聴内容(印刷)に付添いしてご説明させていただきます。
・保護者の皆様は視聴して後述でいただけるように、事前に講師の先生に緑ヶ丘中学校校区の防災への関心などをお伝えして、講演内容に加えていただきます。講演録画後、ご質問や感想をいただくことも可能です。なお、お子様、ご家族の皆様が一緒に視聴していただくことも可能です。

4 備 考 事項 アンケート調査
・視聴後、アンケート調査への協力をお願いします。
・学校ごとにまとめて、今後の防災教育に生かします。
・3小1中であらためて、家庭教育学級特別講座の実施報告とさせていただきます。

保護者への案内

<講演の内容>

防災の基本/水害・土砂災害/登下校時の想定外/連絡・安否確認/
避難生活/自助・共助・公助/雷

<保護者の感想から>

- ・家族での話し合い、地域とのつながりがとても大事だと思いました。今回この講座を受けることができ、とても良かったです。
- ・分かりやすく、防災について考えて子どもに話すきっかけができました。自宅で見るのができたのも良かったです。
- ・災害、地震などでどうすればいいかと心配していたことについても分かりやすくお話が聞けたので、これを機に家族と話し合い、見直しをしていきたいと思いました。



コロナ禍でも安心して

参加できるように

- ・講演を録画し、期間を決めて動画配信することで、感染拡大の心配をすることなく講演を視聴できた。



より多くの人に

参加して頂けるように

- ・保護者が都合のよい場所や時間に講演を視聴できるよう、週末から週明けの4日間、動画配信を行った。
- ・学校で使用しているタブレットを持ち帰る期間に合わせて動画を配信することにより、パソコンやスマートフォンだけでなく、子どもたちが普段使っているタブレットを使っても講演を視聴できるようにした。



ICT の活用

- ・Web のアンケート作成ツールを活用することにより、保護者が講演を視聴した後、そのままオンラインでアンケートに答えていただけられるようにした。また、ツールの活用により、アンケートの集計を効率的に行うことができた。